”ツーリングシーズン“に突入!! さまざまプランをどう考える――？

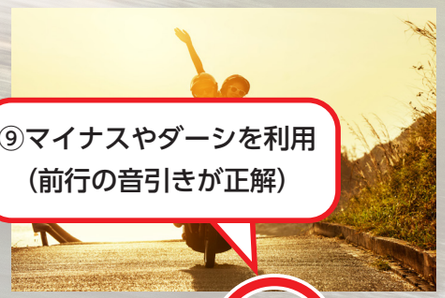
初夏を迎え、そろそろツーリングを行うのに〝絶〟のシーズン入ってきたところだ。すでにさまざまなプランを立てて[illegible]。２０１９年のツーリ[illegible]なのは、実際にプランを実行す[illegible]せた〝スタイルの確立〟といえるだろう。

「ツーリングシーズン」は実際には半年以上あることから、その時季にあわせた装備をきちんと準備し、[illegible]臨みたいところだ。意外にも[illegible]８月にかけての装備〝選〟だ。この時期、ただ単に暑いだけの話ではなく、実際には突発的なスコールに見舞われることに気を付けておきたいためだ。最近では〝ゲリラ豪雨〟としての名称にあるように、短時間での大雨に見舞われる可能性が少なからずあることから、その際に困らない状態の装備にしておきたい[illegible]のだ。

また、ツーリングにおいてのタイプでのライドが多いとッドタ[illegible]が、実際にはさまざまな車種が[illegible]る。最近では積載量、手軽さ[illegible]スクーターでの長距離ツーリングを行うケースも増えていることも考えておいていいだろう。実際に利用される車種は本当に多いうえで、最近ではレンタルバイクでのツーリングも増えている。さまざまな車種でのトライができるメリットがあるため、ときには愛車以外のバイクで走ってみることも考えてはどうだろう。日常とは異なる、新鮮な気分でツーリングをするのも悪くないところだ。またレンタルバイクの車種が豊富であれば、それによって行きたい場所も増えるだろう。愛車がレーサーの場合、山間部を攻めるのは難しいところだが、オフロードをレンタルしてチャレンジすることも検討することができるためだ。

「準備している時間が一番楽しい」ともいわれるのがツーリング、ともいえる。もちろん、準備から実際のツーリングライド、そして家に帰るまでのすべてがツーリングといえるところなのだが、さまざまなシーンにあわせたプランを考えながら実行に移してみることをおすすめしたい。

装備周りはきちんと考[illegible]こう。思わぬケガをしてしまう可能性もあることから[illegible]コテクター＞などの装着も考えておきたい。天候の急[illegible]変化に対応できるように、耐水性の高い〈ライダースーツ〉もあると便利だ



手軽さもあることから、最近[illegible]はスクータ[illegible]でのツーリングも増えてきている。特にビ[illegible]グスクーターであれば標準での積載量が多いこと、タンデム[illegible]しやすさなどもあり、ちょっとした外出気分でお出かけし[illegible]いところ[illegible]

峠を攻めるの[illegible]れば、やはり大排気量のネイキッドでいき[illegible]楽しみつつ、メリハリ[illegible]リングの醍醐味といえ

①数字の「0」になっている（オールドスタイル数字）

②ちょんちょん〝〟になっていない（閉じも）

③欧文用ダーシ
× □　○ □

④本文の漢字が学参フォント（３か所の例を確認）

⑤間違い
× シ　○ ツ

⑥まぬけ引用符
× ” ”　○ “ ”

⑦スペルの間違い
× Araund　○ Around

⑧大なり小なり（最終行の山括弧が正解）

⑨マイナスやダーシを利用（前行の音引きが正解）

⑩写真の上にロゴと文字あり（アタリ写真）

絶 学 絶 正

入 学 入 正

選 学 選 正

Season of ”Touring”